

◆ 会員一覧

- | | | |
|---|--|---|
| <p>団体会員 (順不同)
 亀山市
 亀山市議会
 亀山市教育委員会
 亀山市農業委員会
 亀山市自治会連合会
 亀山市まちづくり協議会連絡会議
 亀山商工会議所
 (一社) 亀山青年会議所
 亀山青年会議所シニアクラブ
 (一社) 亀山市観光協会
 亀山ライオンズクラブ
 亀山ロータリークラブ
 鈴鹿農業協同組合 亀山地区
 三重茶農業協同組合
 亀山婦人会連絡協議会
 亀山市地区労センター
 鈴鹿森林組合
 (一社) 三重県建設業協会 亀山支部
 亀山地区労働者福祉協議会
 三重県建設労働組合 亀山支部
 [20 団体]</p> | <p>企業会員 (五十音順)
 アパホテル<三重亀山>
 あんしん介護 (株)
 (株) 安全
 (株) エイチワン 亀山工場
 NTNアドバンストマテリアルズ (株)
 (株) エフテック 亀山事業所
 カメヤマ (株)
 亀山瓦斯 (有)
 亀山急送 (株)
 (株) 亀山ショッピングセンター
 亀山製絲 (株)
 北伊勢上野信用金庫 亀山支店
 協同油脂 (株) 亀山事業所
 (株) キンレイ亀山工場
 高圧昭和ボンベ (株)
 (有) 小菅金物
 さくらさくら不動産 (株)
 (株) 三十三銀行 亀山支店
 (株) 三扇
 (株) ジェイテクト 亀山工場
 島内建設 (株)
 シャープディスプレイテクノロジー (株)
 昭和パックス (株) 亀山工場
 白川建設 (株)
 (有) シラカワ
 鈴鹿インター (株)
 (株) スチールセンター 亀山事業所</p> | <p>(株) セキデン
 (株) 大紀アルミニウム工業所 亀山工場
 田島シルク (株)
 中部電力パワーグリッド (株) 鈴鹿営業所
 東海労働金庫 亀山支店
 東洋電装 (株) 亀山工場
 (株) 栃木屋
 (株) 豊田自動織機
 (株) 長田建材店
 (有) ニシムラ
 日東電工 (株) 亀山事業所
 パナック (株) 亀山工場
 (有) ハーモニー原田
 (株) 百五銀行 亀山支店
 (株) プラザチェーン
 古河電気工業 (株) 三重事業所
 堀田建設 (株)
 (株) ホンダオート 三重亀山店
 (株) ミヤガク中京(カメヤマドライバースクール)
 (株) 宮長
 (有) むかい
 (株) 村山ガス
 (有) 保田ガラス店
 柳河精機 (株) 亀山工場
 山川運輸 (株)
 (株) ヤマシタ 三重事業所
 (株) 米津グリーンメンテ
 リケンテクノス (株) 三重工場</p> |
|---|--|---|
- [55 社]

リニア中央新幹線・JR 複線電化推進亀山市民会議とは

当市民会議は、昭和 42 年 5 月に、国鉄複線電化の推進を目的に、亀山市長を会長とした市民各会代表による「国鉄複線電化推進亀山市民会議」として発足しました。平成 4 年にはリニア中央新幹線の早期実現と市内停車駅誘致を活動目標に追加し、平成 13 年から平成 18 年までは市民対象のリニア試乗会を開催するなど様々な取り組みを展開してきました。

今後も「LINEAR TO KAMEYAMA ~昭和・平成・令和の時をつなげ~」・「もっと乗って！もっと便利に！」を合言葉にリニア中央新幹線の市内停車駅誘致、亀山市を中心とした複線電化や利便性向上を目指し、関係機関と連携した強力な推進活動を展開していきます。

なお、当市民会議は、会員各位からの会費と市補助金により運営しており、こうした活動にご賛同いただける会員を募集しています。

詳細は、下記事務局までお問い合わせください。

(事務局：亀山市政策部政策推進課内 0595-84-5066)

発行者：リニア中央新幹線・JR 複線電化推進亀山市民会議

編集：リニア中央新幹線・JR 複線電化推進亀山市民会議事務局 (亀山市政策部政策推進課内) 〒 519-0195 三重県亀山市本丸町 577 番地
 TEL : 0595-84-5066 E-mail : kotsu@city.kameyama.mie.jp



岸田前総理のボーリング調査地視察

ジオラマ完成披露

大都市と沿線を結ぶ列車の実証運行 (関駅)

会長のあいさつ



リニア中央新幹線・JR 複線電化推進亀山市民会議 会長

亀山市長 櫻井義之

陽春の候、皆さまにおかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。
 さて、リニア中央新幹線の整備につきましては、先行開業を目指す品川・名古屋間において、困難な諸課題に直面しながらも沿線各地で鋭意建設工事が進められております。
 また、名古屋・大阪間の整備においては、令和 5 年 12 月より建設主体である東海旅客鉄道株式会社 (JR 東海) によりまして、リニア中央新幹線の概略ルート及び概略駅位置の絞り込みに必要なボーリング調査が三重県と奈良県で開始され、環境影響評価に着手されています。既に本市内の候補地 3 カ所におけるボーリング調査は終了しましたが、昨年 7 月には岸田前総理が本市のボーリング調査地を視察され、全線開業に係る想定時期の下 (最速 2037 年)、静岡工区を含め、リニア中央新幹線の整備が適切に進むよう、必要な指導と技術的支援を行うとともに、リニア整備の効果が最大限発揮されるよう、駅周辺を含めたまちづくりを国として沿線自治体と連携して全面的に支援していくと発言され、心強く感じたところであります。

このように、リニア中央新幹線の整備は、国家的プロジェクトとして、着実に、そして、力強く前進するとともに、本市としても新たな局面を迎え、昭和・平成・令和の時を超えた取り組みが新たなステージへと進んでおります。

一方、在来線におきましては、令和 4 年より関西本線活性化利用促進三重県会議 (三重県、亀山市、伊賀市、西日本旅客鉄道株式会社) によりまして、関西本線 (亀山・加茂間) の活性化利用促進に向けた様々な取り組みを進めており、本年 2 月には、JR 東海の協力も得ながら、沿線地域外からの観光を目的とした移動の潜在需要の取り込みに関する検証を行うため、名古屋駅と伊賀上野駅を乗り換えなしで結ぶ実証列車の運行が実現し、本市においても、関宿の観光を楽しんでいただきました。これを契機に、より一層、関西本線の活性化と利用促進が図られるよう、継続した取り組みを推進するとともに、ぜひ、市内鉄道を積極的にご利用いただき、在来線のさらなる活性化と利便性向上につなげてまいりましょう。

当市民会議といたしましても、引き続き、リニア中央新幹線の全線早期開業とリニア市内停車駅の実現、そして、発足当初からの目標である関西本線、紀勢本線の利便性向上に向けて、関係機関と協力しながら、幅広い活動を精力的に展開してまいりますので、今後とも、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

リニア中央新幹線の 全線開業に向けて ～着実に前進するリニア中央新幹線の整備～

最新！リニア中央新幹線整備状況と市内停車駅誘致状況

リニア中央新幹線の整備事業については、昨年6月に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2024（国の骨太の方針）」において、リニア中央新幹線については、財政投融资による支援を踏まえ、全線開業に係る現行の想定時期の下（最速2037年）、適切に整備が進むよう、環境・水資源の状況や建設主体の財務状況を厳格にモニタリングし、必要な指導及び技術的支援を行うとともに、名古屋以西について、駅の整備に関する検討の深度化など、整備効果が最大限発揮されるよう、沿線自治体と連携して駅周辺を含めたまちづくりを進めると明記されたところであり、建設主体であるJR東海により、現在、先行開業区間となる品川・名古屋間の沿線各地で鋭意工事が進められています。

こうした中、未着工区間である南アルプストンネル静岡工区については、昨年2月に国土交通省により立ち上げられた「リニア中央新幹線静岡工区モニタリング会議」において、リニア中央新幹線静岡工区の水資源、環境保全に関する対策について、科学的・客観的観点から継続的に確認が行われる中で、静岡県とJR東海の協議に国土交通省も入り、一層の対話を促すなど、スピード感をもって進められています。

また、名古屋以西となる名古屋・大阪間の整備については、令和5年12月より建設主体であるJR東海により、三重県、奈良県において、概略ルートの絞り込みと概略駅位置の選定に向けたボーリング調査を開始し、環境影響評価に着手されています。既に本市内のリニア駅候補地3箇所のボーリング調査は終了していますが、昨年7月には、岸田前総理が本市を訪れ、ボーリング調査地を視察されています。今後は、環境影響評価の法的手続きとなる計画段階環境配慮書の作成により、名古屋以西のリニア中央新幹線の概略ルート及び概略駅位置が示されてくるものと見込んでいます。

一方、リニア中央新幹線・JR複線電化推進亀山市民会議では、親子学習会の開催や中央要望活動等を継続的に実施するほか、昨年12月には、「みえリニアフェス in 亀山」を三重県、リニア中央新幹線建設促進三重県期成同盟会と連携を図りながら開催するなど、全線早期開業と市内停車駅誘致の機運醸成のための活動を展開しました。今後こうした活動を継続しつつ、建設主体による概略駅位置の公表時など、駅誘致が具体化されていく段階を見据え、より一層関係団体との連携を図りながら、最速2037年の全線開業に向けた取り組みを進めてまいります。



岸田前総理視察風景



みえリニアフェス in 亀山開催風景



県同盟会要望風景

令和6年度のリニア中央新幹線・JR複線電化推進亀山市民会議活動

リニア中央新幹線・JR複線電化推進亀山市民会議では、「LINEAR TO KAMEYAMA～昭和・平成・令和の時をつなげ～」、「もっと乗って！もっと便利に！」を合言葉に、リニア中央新幹線の全線早期開業や市内停車駅誘致の機運醸成と在来線の利便性向上などの推進活動を展開しました。

❖ 総会・講演会

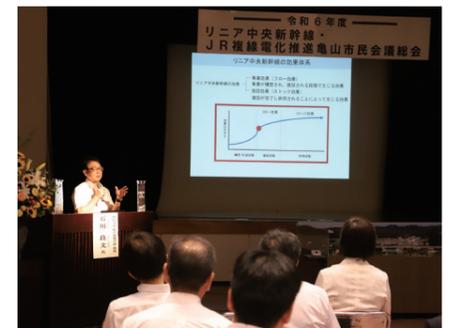
令和6年7月26日（金）亀山市文化会館中央コミュニティセンターにおいて、関係者約70名出席のもと、令和6年度リニア中央新幹線・JR複線電化推進亀山市民会議総会が開催されました。総会当日は、議事に先立ち、昨年度より制作を進めてきた「リニア三重県駅のある未来の亀山を想像したジオラマ」の完成披露が行われました。その後、昨年度の事業報告や令和6年度の事業計画が承認されました。総会終了後は、リニア中央新幹線の先行開業区間となる飯田市、中津川市、名古屋市等でもリニア中央新幹線に関するご講演を多数実施されている南山大学総合政策学部の石川良文教授をお招きし、リニア中央新幹線の経済効果と題し、北陸新幹線の開通による経済効果の事例等も踏まえつつ、リニアを活かした望ましい未来の姿を描くビジョンの重要性等についてご講演いただきました。



ジオラマ完成除幕風景



総会開催風景



講演会開催風景

❖ 次世代を担う子どもたちを対象とした取組

令和6年8月4日（日）、恒例行事となった「リニア・鉄道親子学習会」を開催し、抽選で選ばれた16組43名の参加者により、リニアや鉄道の歴史等について、親子で楽しく学んでいただきました。本学習会では、愛知県名古屋市にある「リニア・鉄道館」を訪れたほか、愛知県長久手市では、自動運転で浮上走行する「リニモ」に乗車し、その技術を体感いただきました。そのほか、「青少年のための科学の祭典」へのブース出展や「三重ホンダヒート亀山魅力発信デー」ブース出展への協力を行い、子ども向けの実験やゲームを実施する等により、リニア中央新幹線の全線早期開業と市内停車駅誘致PR、在来線の利用促進PR活動を展開しました。



科学の祭典



リニア・鉄道親子学習会



三重ホンダヒート亀山魅力発信デー

中央要望活動

令和6年10月24日（木）、リニア中央新幹線の全線早期開業と市内停車駅の早期決定、在来線の複線電化や駅機能充実による利便性向上などを求めるため、国や関係機関に対して要望活動を実施しました。

《要望内容》

- リニア中央新幹線
 - ・三重・奈良ルートによる全線早期開業
 - ・三重県期成同盟会にて決議された候補地への停車駅決定
- 在来線
 - ・亀山・名古屋間の複線化工事の早期着手
 - ・IC乗車券サービスの利用拡大や駅機能の充実による利便性の向上 など



国土交通省鉄道局への要望活動風景

先進地視察

令和6年11月22日（金）、リニア中央新幹線・JR複線電化推進亀山市民会議の理事により、リニア中央新幹線の先行開業区間で中間駅が設置される岐阜県中津川市の視察を実施しました。視察では、リニア岐阜県駅周辺工事現場をはじめ、車両基地工事現場、木曾川第二橋梁工事現場等の現地視察を行うほか、中津川市職員による駅周辺を含めたまちづくり状況の説明を受け、工事中や完成後の経済効果等について意見交換を実施しました。



先進地視察風景

PR活動

リニア中央新幹線・JR複線電化推進亀山市民会議では、PRカレンダーの作成配布や会報発行を行うほか、令和6年7月に完成した「リニア三重県駅のある未来の亀山を想像したジオラマ」を亀山市立図書館や市役所等に展示し、リニア中央新幹線の全線早期開業と市内停車駅誘致の機運醸成を図るとともに、在来線の利用促進PR活動に取り組みました。



ジオラマ展示（図書館）

PRカレンダーデザイン

亀山市で「みえリニアフェス in 亀山」を開催

令和6年12月21日（土）に亀山公園内の青少年研修センターをメイン会場に、三重県、リニア中央新幹線建設促進三重県期成同盟会、リニア中央新幹線・JR複線電化推進亀山市民会議が連携を図り、「みえリニアフェス in 亀山」を開催しました。

本イベントは、JR東海をはじめ、様々な交通事業者等協力のもと、子どもたちに、参加型のイベントを通じて、学び、知り、作ることの楽しさを体験してもらい、リニア中央新幹線や県内ゆかりの乗り物への関心や理解を深めてもらうため、開催したもので、当日は、多くの来訪者で賑わいました。

本市民会議では、本年度に完成した「リニア三重県駅のある未来の亀山を想像したジオラマ」の展示とNゲージリニアの運転体験ブースを出展し、多くの子どもたちに楽しんでいただきました。その他、会場では、リニアブースのほか、県内ゆかりの交通事業者ブース、リニア模型を作るワークショップ、マルシェブース、キッチンカー等が出展し、市内外から多くの来訪者で賑わい、リニアのある未来に思いを馳せていただきました。



リニアフェス開催風景

「リニア三重県駅のある未来の亀山を想像したジオラマ」が完成!!

令和5年度からリニア駅誘致運動積立金を活用し、制作を開始した「リニア三重県駅のある未来の亀山を想像したジオラマ」が令和6年7月に完成し、同月に開催された令和6年度リニア中央新幹線・JR複線電化推進亀山市民会議総会において、お披露目しました。このジオラマは、本市民会議総会における披露の後、亀山市立図書館や亀山市役所にて展示されたほか、昨年12月に開催された「みえリニアフェス in 亀山」において、ジオラマ内を浮上走行するNゲージリニアの運転体験を開催するなど、多くの方々の目に触れ、未来の亀山を想像いただくことで、リニア中央新幹線の全線早期開業と市内停車駅誘致の機運醸成が図られました。本市民会議では、今後も本ジオラマを有効活用しながら、更なる機運醸成を図ります。



ジオラマ

【ジオラマ観覧ポイント】

完成したジオラマは、高さ1m、横幅2m、奥行1.5mで、ジオラマ内にリニア三重県駅のある未来の亀山を想像した建物を配置するほか、伊勢亀山城跡の多門櫓、関宿、茶畑、鈴鹿川等が配置されており、その中をNゲージリニアが浮上走行するジオラマとなっています。また、本ジオラマ内には、令和5年度に開催したワークショップにて、子どもたちが制作した樹木や人物の模型も配置されています。さらに、本ジオラマには、上部から観覧すると「ミエ」の文字となる建物が配置されています。今後も公共施設やイベント等において展示や運転体験を実施しますので、ぜひご覧ください。
※なお、Nゲージリニアの走行や運転体験はイベント開催時のみとなります。

在来線～「もっと乗って!もっと便利に!」～

関西本線（亀山・加茂間）の活性化利用促進に取り組む、関西本線活性化利用促進三重県会議（三重県、亀山市、伊賀市、西日本旅客鉄道株式会社）により、沿線地域外からの観光を目的とした移動の潜在需要の取り込みに関する検証を行うため、本年2月に名古屋駅と伊賀上野駅を乗り換えなしで結ぶ実証列車の運行が実施されました。

実証列車の運行は、本年2月16日（日）と22日（土）の両日で1往復が運行され、運行当日は、関駅で降車された参加者や伊賀上野駅へ向かう参加者を地域の方々や関係者がお出迎えとお見送りをするなど、賑わいが創出されていました。また、実証列車の運行車両は、JR東海所属のキハ75系の2両編成で、2006年の「急行かすが」廃止以来の直通運行となることもあり、沿線各地で地域の方々や鉄道ファンで賑わいました。今後もこうした活動等により関西本線の一層の活性化が図られるよう、本市民会議としましても、関係団体との連携を図りつつ、更なる鉄道の利便性向上と活性化に向けて利用促進活動等に取り組んでまいります。



「大都市と沿線を結ぶ列車の実証運行」事業

「リニア中央新幹線建設促進期成同盟会」・「リニア中央新幹線建設促進三重県期成同盟会」のホームページでは、リニア中央新幹線の広報動画やキッズ向けのサイトを開設しています。ぜひご覧ください。

また、三重県とリニア中央新幹線建設促進三重県期成同盟会が運営する「みえリニアポータルサイト」では、「みえリニア応援クラブ」の会員を募集しています。入会金・年会費は無料で、会員特典として、リニアオリジナル啓発グッズ（非売品）がプレゼントされます。



◀リニア中央
新幹線建設
促進期成
同盟会



◀みえリニア
ポータル
サイト